

佐渡市小学校教育研究会理科部の活動報告

1 活動の方針

- (1) 授業研究や参画型の協議会を通して、部員一人一人の授業力向上を目指す。
- (2) 理科教育センターと連携した科学作品展等の実施を通して、理科好きな児童の育成を目指す。

2 活動の概要

- (1) 子どものための科学祭り
 - ① 期 日 9月17日(土)～18日(日)
 - ② 会 場 アミューズメント佐渡
 - ③ 内 容 科学作品展と作品審査
科学体験教室指導者として参加
- (2) 科学研究発表会審査
 - ① 期 日 10月7日(金)
 - ② 会 場 佐渡中央会館
 - ③ 内 容 科学研究審査
- (3) 授業研究事前検討会
 - ① 期 日 9月13日(火) 15:30-16:45
 - ② 会 場 理科教育センター
 - ③ 内 容 授業研究会指導案について、事前検討会を理科センターとの共催で行った。

- (4) 授業研究会
 - ① 日 時 10月19日(水)
14時00分～16時30分
 - ② 会 場 畑野小学校 理科室
 - ③ 授業者 北脇 靖子
 - ④ 指導者 下越教育事務所
指導主事 森 和人 様



ゴムカーで調べる様子

- ⑤ 内 容

3年理科「ゴムのはたらき」の公開授業が行われた。ゴムが元に戻る時のきまわりをゴムカーを使って調べるために、予想場面の工夫を凝らした授業提案であった。授業後の協議会では、以下の意見が出された。

- ・ かかわりの場面では、課題把握が適切にされており、根拠をもった予想によって考えが深まる姿が見られた。
- ・ 教材については、オリジナルのゴムカーを準備したことや、実験の場の設定など、細かな点に配慮が行き届いており、大変参考になった。
- ・ 1授業時間の展開において、時間配分を適切に構想する必要がある。本時は、後半に時間が不足してしまい、十分な実験データを得られていない姿が見られた。

また、森指導主事からは、理科指導の体系を踏まえた授業構成や手だての在り方などについて御指導をいただいた。今後、それぞれの会員の授業実践に生かして生きたい。